

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	基本情報技術Ⅳ 品質管理（TDB220）	配当学年	2
講義名（コード）	基本情報技術Ⅳ 品質管理（TDB220）	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネス	講義期間	秋
専攻		履修区分	選択必修
授業担当者	田口 博道	授業形態	講義
成績評価教員	居山 由彦	実務者教員	
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	
到達目標	
全体の内容と概要	
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	講師	授業内容
1	品質管理スペシャリスト	品質管理概要
2	品質管理スペシャリスト	品質管理部門の意義・目的 QC的な重要な考え方 PDCAを回す考え方 標準化の目的と進め方
3	品質管理スペシャリスト	不良の原因追求の進め方 品質管理の基本手法
4	品質管理スペシャリスト	QC7つ道具（特性要因図、パレート図、ヒストグラム、管理図、散布図、グラフ、チェックシート）の作成・使用方法 1
5	品質管理スペシャリスト	QC7つ道具（特性要因図、パレート図、ヒストグラム、管理図、散布図、グラフ、チェックシート）の作成・使用方法 2
6	品質管理スペシャリスト	QC7つ道具（特性要因図、パレート図、ヒストグラム、管理図、散布図、グラフ、チェックシート）の作成・使用方法 3
7	品質管理スペシャリスト	ソフトウェア品質管理 ソフトウェアテストの計画とは？
8	品質管理スペシャリスト	テスト計画 テスト対象の明確化と分析 入力品質と目標品質の設定 品質向上シナリオの策定 テストケースの想定と設計技法の選択 テストマネジメントとは何か？
9	品質管理スペシャリスト	テストマネジメントの目的 マネジメントすべきものは何か QCDバランスの考え方 テストマネージャに必要なスキル ソフトウェア品質評価の考え方
10	品質管理スペシャリスト	評価視点の持ち方 ・チェックリスト密度と不良件数密度による評価 テスト計画は品質マネジメントのために
11	品質管理スペシャリスト	テスト効率の向上 品質方針と標準 テストプロセスとマイルストーン アウトソーシングとテスト計画 ソフトウェアテスト結果の分析とは？
12	品質管理スペシャリスト	品質目標達成度の分析 バグ分布 稼働後のリスクの分析 テスト結果分析→品質分析 品質分析対象となるテストの結果
13	品質管理スペシャリスト	ISO9001/2000 以降の品質定義 テストプロセスとテスト進捗 バグ（不具合）発生 目標達成度（品質進 品質向上対策の具体化のために
14	品質管理スペシャリスト	バグ解決コストを明確化する 開発プロセスによる対策 テストプロセスによる対策 アウトソーシングによる対策 ツールや資源による対策 スキルアップや教育による対策 標準や方針の見直しによる対策
15	品質管理スペシャリスト	期末試験

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	